

2019年度（令和元年度）事業報告書

2019年（平成31年）4月1日から2020年（令和2年）3月31日まで

1. 概況

2019年度は、前年度からの重要事業を継続しつつ、当協会の目的とする水の衛生に係る公衆衛生の向上と環境の確保を目指して、以下の事業を実施しました。

（1）教育・資格事業

●水利用設備環境衛生士の養成（新規受講）

・水利用設備環境衛生士資格講習会の開催は、

2019年 4月11日（木）於：日建学院天神校（福岡）

4月18日（木）於：日建学院新橋校（東京）

5月23日（金）於：日建学院梅田校（大阪）

6月20日（木）於：日建学院札幌校（北海道）

10月24日（木）於：日建学院新宿校（東京）

10月31日（木）於：日建学院大宮校（埼玉）

11月 7日（木）於：日建学院厚木校（神奈川）

11月21日（木）於：日建学院天神校（福岡）

12月 6日（金）於：日建学院仙台校（宮城）

2020年 1月31日（金）於：広島YMCA国際文化センター（広島）

※2020年3月5日（木）に日建学院宇都宮校（栃木）で開催予定の講習会は、新型コロナウイルスのため開催延期しました。

※2019年度の新規受講者数は145名。

●水利用設備環境衛生士の養成（更新受講）

2019年度の対象者は86名、更新講習受講者は44名。

（2）普及・啓発事業

●水利用設備機器の衛生管理に関する機関誌の発行

年4回（1月・4月・7月・10月）発行した。

発行部数は各回約1,500部（うち行政へは約630部）。

※メール版の送信は、84施設

●水利用設備の水質検査

水質検査の実施は388件

●部会・研究会の実施

①空調機器の環境衛生管理に関する部会

開催は、6月16日（火）、8月20日（火）、10月15日（火）、12月16日（月）、2月10日（月）於：協会事務所
以上を実施した。

●水利用設備機器の衛生に関する研究会、講演会の開催

・行政等への協力

①山口県下関保健所からの依頼により、所管内の入浴施設（銭湯、スーパー銭湯などの公衆浴場）、ホテル・旅館、スポーツ施設、社会福祉施設などの関係者を対象とする「レジオネラ属菌汚染防止対策講習会」の講習を担当した。

開催日は、2019年5月16日（木）

②広島県三原市保健所からの依頼により、三原市内のゴルフ場やホテルをはじめ公衆浴場営業許可施設及び旅館業営業許可施設の衛生管理担当者を対象とする「三原市浴場施設衛生管理者講習会」の講習を担当した。

開催日は、2019年7月2日（火）

③高知県健康政策部からの依頼により、県内の入浴施設、ホテル・旅館、社会福祉施設など主に循環式浴槽を設置している施設の経営者や衛生管理を担当されている方などを対象とする「令和元年度入浴施設におけるレジオネラ属菌汚染防止対策講習会」の講習を担当した。

開催日は、2019年9月13日（金）

④滋賀県大津市保健所からの依頼により、所管内の公衆浴場・旅館施設の従業員と社会福祉施設の従業員などを対象とする「令和元年度入浴施設におけるレジオネラ症発生防止対策講習会」の講師を担当した。

開催日は、2019年10月11日（金）

⑤松戸健康福祉センター（松戸保健所）からの依頼により、循環式浴槽を設置している県内公衆浴場及び旅館業の営業者、掛け流し式の温泉入浴施設その他、特定入浴施設である社会福祉施設の方を対象とする「令和元年度レジオネラ症防止対策等衛生講習会」の講師を担当した。

開催日は、2019年10月24日（木）

⑥南多摩保健所（東京都多摩市）からの依頼により、循環式浴槽等を持つ公衆浴場、循環式浴槽等を持つ旅館、加温プール、ジャグジーを持つ施設、循環式浴槽等を持つ社会福祉施設の衛生管理担当者を対象とする「令和元年度レジオネラ症防止対策講習会」の講師を担当した。

開催日は、2019年11月12日（火）

⑦(公財)鳥取県生活衛生指導センターからの依頼により、公衆浴場、旅館(循環式浴槽を持つ施設、プール経営者・管理者等)の関係者を対象とする「令和元年度旅館ホテル業並びに公衆浴場業における衛生管理講習会」の講師を担当した。

開催日は、2020年1月29日(水)鳥取市

2月4日(水)米子市

2月5日(木)倉吉市 以上3会場

⑧多摩府中保健所からの依頼により、循環式浴槽等を持つ公衆浴場、循環式浴槽等を持つ旅館、加温プール、ジャグジーを持つ施設、循環式浴槽等を持つ社会福祉施設の方を対象とする「令和元年度レジオネラ症防止対策講習会」の講師を担当した。

開催日は、2020年2月19日(水)

(3) 調査研究事業

●調査研究助成

4月～7月の間、ホームページに掲載し、「UFB装置使用による配管内のバイオフィーム剥離実験」の応募があり採用した。経時試験などの検査費用の一部を助成することとした。

※2019年度中に予定していた実験が延期されたため、助成金の支出はなく、2020年度に繰り越した。

(4) その他事業の報告

「水利用設備環境衛生士」の講義内容を法政大学で実施

法政大学生命科学部(小金井キャンパス)で、2019年度の「環境安全化学」授業の15週のうち第11～15週の5週分を使って水環境における衛生管理について行われた。

受講者数は約60名。

(5) 会員の状況

2020年(令和2年)3月31日現在の会員数は、正会員73、賛助会員38、賛助会員(登録施設)136。

以上